

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費の減などにより、

予算額 53億4,241万円で、前年度比2.4%減

公営住宅事業特別会計におきましては、建替事業費の減などにより、

予算額 6億1,645万円で、前年度比29.2%減

介護保険特別会計におきましては、

保険事業勘定が、保険給付費の増が見込まれるなどにより、

予算額 34億9,024万円で、前年度比4.3%増

介護サービス事業勘定は、社会福祉事業団への事業移管により、

予算額 1億6,702万円で、前年度比88.3%減

介護保険特別会計総体で、

予算額 36億5,726万円で、前年度比23.3%減

後期高齢者医療特別会計におきましては、広域連合納付金の増などにより、

予算額 5億6,187万円で、前年度比4.9%増

土地区画整理事業特別会計におきましては、平成26年度から特別会計において行うものとして、

予算額 3,775万円 を計上いたしました。

下水道事業会計におきましては、地方公営企業法の改正に伴う減価償却費の増などにより、

支出額 25億9,525万円で、前年度比12.6%増

病院事業会計におきましては、地方公営企業法の改正に伴う特別損失などにより、

支出額 85億7,136万円で、前年度比12.8%増となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

道路新設改良事業費 1億2,552万円

地域の元気臨時交付金充当事業費 4億6,821万円

などを含め、総額で 9億5,243万円

公営住宅事業特別会計では、 2億4,975万円

下水道事業会計では、 1億6,166万円

病院事業会計では、 9,991万円

全体で前年度比22.7%増の 14億6,375万円 を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

農業を起点とした元気な地域産業づくりについては、

農業者の所得向上を図り、6次産業化に向けた取り組みを支援するため、

6次産業化の推進費 44万円

インターネットを活用した物産販売による販路拡大や商品開発を行うため、

物産振興事業費 50万円

様々な農業課題に対応するため、総合的な補助金制度として、

元気な農業づくり補助金 240万円

流通の仕組みに関する実務などのノウハウを習得するため、

新日本スーパーマーケット協会への派遣費 879万円 を計上しました。

持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立については、

新規就農者の受け入れサポート体制を構築するため、

新規就農者の確保対策事業費 909万円

意欲にあふれた担い手を育成するため、

滝川農業塾補助金 200万円

農業生産法人の育成を図るため、

農業生産法人の育成事業費 18万円

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備を進めるため、

道営土地改良事業負担金 9,388万円

なたねの生産向上を図るため、

新たな農業登録費 55万円 を計上しました。

力強い産業の育成・雇用の推進については、

新たな企業誘致を目指すため、

畜産試験場跡地利用促進事業費 93万円

滝川産のリンゴを使用した発泡酒の開発を支援するため、

食のブランド開発補助金 80万円 を計上しました。

新たな産業の育成については、

自然エネルギーの活用を促進するため、

住宅用太陽光発電導入支援補助金 100万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

集客・交流事業の推進については、

地域の優れた観光資源を活かし、観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,080万円

丸加高原健康の郷専用水道の送水ポンプを更新するため、

丸加高原健康の郷専用水道改修工事 1,024万円

観光PR、イベント支援、丸加高原での体験事業を推進するため、

地域おこし協力隊の活用事業費 965万円

道の駅たきかわをより利用しやすい施設とするため、

道の駅たきかわ施設改修工事 749万円

ふれ愛の里を安心して利用できる環境を整備するため、

滝川ふれ愛の里施設改修工事 801万円 を計上しました。

国際化の推進については、

シンガポールでの観光PRを実施し、外国人観光客誘致に取り組むため、

国際観光プロモーション活動事業費 61万円

モンゴル国の農業支援のため、

自治体職員協力交流事業費 1,418万円

自治体国際協力促進事業補助金 122万円

カンボジア王国における縫製技術の習得を支援するため、

自治体国際協力促進事業補助金 300万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

コンパクトで機能的な都市の形成については、

滝川市公共施設マネジメント計画に基づき持続可能な公共施設運営を進めるため、

公共施設マネジメント推進事業費 518万円

町内会等が管理している街路灯の電気料金の削減効果が大きいLED灯への切り替えを促進するため、

街路灯設置費補助金 2,822万円

都市環状軸の形成に向けた都市計画街路西二号通の整備を実施するため、

泉町土地区画整理事業費 3,775万円

賑わいのある中心市街地の活性化については

栄町3-3地区における民間開発の動きを誘導・支援するため、

栄町3-3地区市街地総合再生計画策定事業費 170万円

商店街に「人を歩かせ」、「人を引き込む」事業を支援するため、

商店街等賑わいづくり事業補助金 100万円

商店街の将来の担い手を育成するため、

商業自主研究グループ活動助成事業補助金 10万円

若者と商店街が連携し、魅力向上を目指すため、

若者連携商店街魅力アップ事業費 6万円 を計上しました。

住宅ストックの適正管理については、

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

住み替え促進事業費 777万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」についてです。

バリアフリー化の推進については、

鈴蘭通り線の歩道部分のバリアフリー化を進めるため、

街路事業（バリアフリー事業）費 1,900万円

滝川駅前広場の再整備を行い、バリアフリー化を実施するため、

駅前広場整備事業費 1億1,715万円 を計上しました。

地域福祉・自立支援の充実については、

消費税率改定に伴う低所得者対策の給付措置として、

臨時福祉給付金事業費 2億770万円

消費税率改定に伴う子育て世帯対策の給付措置として、

子育て世帯臨時特例給付金事業費 4,775万円 を計上しました。

安心して暮らせる保健・医療環境の充実については、

生活習慣病などの予防に向け、市民の運動への取り組みを後押しするため、

運動チャレンジ推進事業費 10万円

市民に質の高い保健指導を可能とするため、

健康管理システムの導入事業費 283万円

保健・医療・福祉の向上や人材育成に向けて、

北海道医療大学との連携事業費 144万円

災害に強いまちづくりについては、

避難所に必要な備蓄品を確保するため、

防災用品の備蓄費 520万円

不特定多数が利用する大規模な建物の耐震診断にかかる負担を軽減するため、

民間建築物耐震診断補助 2,244万円

広域消防事務組合新庁舎を移転建設するため、

滝川地区広域消防事務組合庁舎基本設計負担金 1,266万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

滝川市で教育を受けさせたいと思われる環境づくりについては、

平成27年度までに計画的に耐震化を進めるため、

学校の耐震化事業費 4,183万円

親子給食方式を推進するため、

学校給食設備の整備事業費 1,120万円

子どもたちの「食を大切に作る心」を育むため、

食育ファーム事業費 34万円

給食会計の安定的運営を図るため、

学校給食公会計化準備費 101万円

いじめ防止条例の基本方針を推進し、社会全体でいじめの問題を克服することを目指すため、

いじめ防止等に関する条例の推進費 17万円 を計上しました。

滝川市で子育てしたいと思われる環境づくりについては、

平成27年度に始まる子ども・子育て支援制度に対応するため、

子ども・子育て支援事業計画策定費 494万円

絵本を通じて親子がふれあう機会を提供するため、

図書館ブックスタート事業費 100万円 を計上しました。

次に、「市民が活躍するまちづくり」についてです。

市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについては、

市民の健康増進、世代間交流、地域コミュニティの醸成を図るため、

まち自慢のパークゴルフ場整備事業費 7,868万円

美術自然史館の企画展示を行うため、

企画展事業費 334万円

NHKとの共催により文化センターで公開収録を行うため、
NHK公開番組「民謡魂 ふるさとの唄」開催事業費 52万円
文化・体育施設を安心して利用できる環境に整備するため、
社会教育施設の改修事業費 4,659万円
東京オリンピック・パラリンピック出場選手の合宿誘致に向け、
東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致事業費 5万円 を計上しました。
市民活動の推進については、
男女共同参画を推進するため、
男女共同参画推進計画スタートアップ事業費 24万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。

定住自立圏構想の推進については、
定住自立圏形成協定の締結や定住自立圏共生ビジョンの策定を目指すため、
定住自立圏共生ビジョン策定費 80万円 を計上しました。
市税等のコンビニエンスストア納付の導入については、
市税等納付の利便性向上のために、
市税等のコンビニエンスストア納付導入費 312万円 を計上しました。

住民情報システムの社会保障・税番号制度対応については、
平成27年10月の個人番号通知などに対応するため、
住民情報システム改修費 1,620万円 を計上しました。

市内公共施設のPCB廃棄については、
定められた期間内に計画的な処理を行うため、
高濃度PCB汚染物廃棄処理事業費 8,457万円

第三セクター等の経営健全化については、
個別事業の見直しや経費節減などによる経営改善を促進し、第三セクター等の経営を支援するため、
滝川振興公社貸付金 6億4,900万円
滝川グリーンズ貸付金 3,500万円 を計上しました。

次に、これらに見合う平成26年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税については、現年収納率97.9%、滞納繰越分11.6%、合わせて87.4%の収納率を確保する予算となっています。個人市民税については、税制改正による均等割税率の引き上げ、景気回復などの好影響が個人所得に波及するとの予想から、前年度の決算見込みを踏まえて増額で見込みました。また、固定資産税・都市計画税は、土地評価額が長期下落傾向にあるため、価格の修正と家屋の新增築、滅失などの異動分を勘案したところ、市税全体では、
対前年5,303万円増の 42億8,526万円
地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、
対前年1億4,075万円減の 72億443万円

その他の歳入といたしまして、

国庫支出金	30億4,875万円	
道支出金	9億6,286万円	
市債	11億3,444万円	を計上しました。

基金繰入金については、平成25年度に交付された「地域の元気臨時交付金」を含め、対前年2億1,939万円増の7億3,361万円を計上しております。

以上、平成26年度の各会計予算案の大綱について申し上げます。

厳しい財政状況の中ではありますが、公共事業の実施だけではなく、滝川市公共施設マネジメント計画への取り組みや広域連携による地域の発展を推進し、今後とも将来負担の軽減に努める予算としました。市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。